

文京区障害者地域自立支援協議会

平成 30 年度 第 4 回障害当事者部会 要点記録

【日時】平成 31 年 1 月 23 日（木） 14 時～15 時 30 分

【場所】文京区民センター3 階 3-C 会議室

【出席者】小和瀬 芳郎（精神障害）

天野 亨（身体障害）

永野 栄一郎（知的障害）

竹間 誠次（知的障害）

福田 美紗子（身体障害）

阿部 英幸（障害福祉課 課長）

【事務局】美濃口、鈴木、林、立柳（文京区障害者基幹相談支援センター）

【欠席者】高山 直樹（自立支援協議会 会長）

志村 健一（自立支援協議会 副会長）

【補助人】松下 功一（補助人）

【傍聴者】4 名

【開会前に事務局からの連絡】

- ・ 出欠席の確認
- ・ 傍聴の確認
- ・ 会議録作成のため、会議内容の録音についての確認
- ・ 配布資料及び会議録はホームページに掲載
- ・ 配布資料の確認
- ・ 本日の進行、流れの確認

1. 開会挨拶 阿部 英幸課長より

- ・ 地域生活支援拠点等整備について

来年度以降の事業として、区内の相談支援体制の充実を図るべく地域生活支援拠点の整備に向けて準備を進め

ている。地域連携調整員を本富士、富坂、大塚、駒込の4地区に順次1名ずつ配置し、より身近な地域で関係機関と連携しながら相談支援を行っていくことを目的としている。また、来年度から自立支援協議会に地域生活支援部会(仮称)を新たに立ち上げることとなった。来年度より本富士地区の拠点設置、順次残る3地区の拠点設置に向けて議論、検討を重ねていく。本富士地区から拠点設置に向けての動きを進める理由としては、本富士地区の相談支援機能を今後より一層充実させていく必要があるためである。自立支援協議会親会へも順次報告しながら進めていく予定である。

・自立支援協議会 当事者委員任期について

平成31年3月末で任期終了となる。4月以降も再任を希望される委員については、引き続き当事者委員として活動していただきたい。再任の場合、面接は実施しないが、就任承諾書の記入をお願いしたい。欠員については公募予定。その際、応募者の面接時に公募選考委員として当事者部会からも2名ほど委員の方に参加していただきたいと考えている。

2. 自己紹介 (新しい参加者がいないため省略)

3. 議題

(1) 広報誌の発行、内容について 【資料第1号、第2号】

①今年度発行するか・しないか

- ・発行した方が良い。
- ・発行はしたいが、準備期間が短いため心配である。
- ・今年度中に作成し配布したいが、状況によっては配布を来年度初めに持ち越してしまう可能性もある。

②広報誌の紙面の大きさや内容量について

- ・前回はA3用紙、両面印刷、A4で4ページ分作成。
- ・今回はA4、2ページでも良いのではないかと。裏面まであまり見ないため表面のみでも良いのではないかと。
- ・前回の広報誌は会長挨拶、平成28年度活動記録(福祉センター祭り、シンポジウム開催)、手書きのメッセージ、「共生社会について」、「委員の日常」、区委員と補助人からの一言を載せた。
- ・今年度は例年より大きなイベントの参加は少なかった。福祉センター祭りも部会としての参加ではなく有志での参加であった。
- ・広報誌 vol.2 は平成29年8月に発行し、その後の活動報告ができていないため、年度は異なっても合わせて報告できると良いだろう。

③広報誌の内容について

- ・広報誌 vol.2 は平成29年8月発行であったため、平成29年10月開催の福祉センター祭りについては記載していない。今回の広報誌に載せてはどうか。おそらく写真は残っているが、当事者部会のブースへの来場者数等の詳細情報は残っていない。聴覚障害者の親子がブースに来てくれたのが印象に残っている。親子でカルタを楽しんでくれた。そうした地域の方々との交流を広報誌に残せると良いだろう。
- ・平成29年度と30年度の合併号にしてはどうか。
- ・サインウィズミーでの交流会の感想も載せたい。
- ・今年度は委員の困り事を話し合ったり、高山会長よりやまゆり園の事件についても話を聞くことができた。そのことも載せられると良い。

【広報誌 vol.3 の内容について】

- ・用紙は A3、両面刷りで作成することとする。
- ・平成 29 年度と 30 年度の活動記録を載せる。
- ・「委員の日常」は今回も載せる。
- ・なるべく写真を載せたい。しかし、顔写真は載せたくない委員もいるため配慮が必要。
- ・当事者部会の“3 年間の軌跡”として主な活動記録を年表形式で作成してはどうか。
- ・ヘルプマークについても情報を載せたい。ヘルプマークをつけていたことで助かったこと等も発信できると良いだろう。
- ・盲導犬との生活についても発信できると興味深い内容になるのではないか。日々の様子に加え、盲導犬の引退時の動きや新たなパートナーとの出会い、訓練の様子、盲導犬と一緒にだと入店拒否されてしまった時のことなども載せられると良いだろう。
- ・愛の手帳を持っていると受けられるサービスなども発信できると良いだろう(映画館で割引になること等)。

【構成について】

A3・両面印刷・A4 で 4 ページ分作成。

1 ページ：部会長挨拶、盲導犬について

2、3 ページ：3 年間の活動報告(見開き、年表形式、写真付きで作成)

4 ページ：「委員の日常」、ヘルプマークについて、愛の手帳の割引制度について、
区委員からの一言(スペースがあれば掲載)

———休憩———

⑤今後のスケジュールについて。

- ・委員からの原稿締め切りは平成 31 年 2 月 8 日(金)とする。
 - ・委員からの原稿はメール、直接持参でも受け付け可能。
- 「委員の日常」については 150 字程度で作成。名前の表記はイニシャルでも対応可能。

⑥配布先について。

- ・第 5 回部会内で具体的に検討することとする。その際、リストアップし整理する。
- ・区内の障害福祉施設、行政機関、公共機関、図書館等に送付予定。
- ・特別支援学級のある教育機関や北区スポーツセンターにも送付したい。
- ・事業所に来る実習生にも渡して欲しい。
- ・自立支援協議会親会、地域精神保健福祉推進協議会でも配布したい。

⑦その他

- ・「障害者と誰が決めるのか？」と健常者の方から質問を受け、返答に困ってしまった。その場では、「医者が決める」と伝えたが、問題なかっただろうか。

4. その他

閉会挨拶 小和瀬部会長より

部会終了後、有志の参加者でサインウィズミーへ移動し交流会実施。

○次回当事者部会日程：平成 31 年 3 月 6 日(水) 14：00～16：00